

矢田川バープエプロジェクト 第1回検討会

○矢田川バープエ^{こう}プロジェクト

低水路が固定され、単調な河川環境となっている矢田川において、バープエを設置することにより、流れに変化を生じさせ、河川環境を改善することを目的とする。

会議概要

■日時：令和2年10月5日(月)13:30~17:00

■場所：愛知県三の丸庁舎

■構成メンバー

- ・岐阜大学 原田守啓准教授
- ・矢田・庄内川をきれいにする会
- ・愛知県河川課 計画G、環境G、改修G
- ・尾張建設事務所河川整備課
- ・環境局自然環境課

検討会の様子

〈左から、打合状況、現地視察①、現地視察②〉



検討会での議題

○バープエとは？

・川の流れに対して上流に向けて設置する、高さの低い水制工。

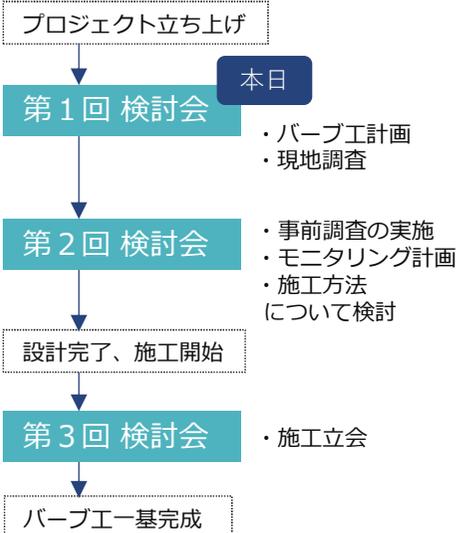
・土砂の堆積を促すことで、寄り州、瀬淵を形成し、河床環境に変化をもたらす。

・河川内の環境が多様化することで、そこに住む生物の多様化も期待できる。



バープエ施工例
写真：岐阜大学 原田准教授提供

○プロジェクトの進め方



○バープエ設置計画(案)



・名古屋市守山区、河道がまっすぐな箇所に設置。

・バープエは、袋詰玉石を並べて設置した構造とする。

○今後の課題

・バープエの効果을把握するために、設置前に事前調査を行うべき。

・また、モニタリングについても、方法を決めて毎年行うことで、効果の推移が分かる。

・今後、基数を増やすに当たり、簡単な施工方法を、考えられると良い。